

「くさだんご、おいしいね」



摘んだ「よもぎ」を前に こんな声が上がりました。  
 水につけておいでらしいよ。花みたい。 **教日後** よもぎは変色して腐る。  
 ちかうよ! そのまにしておけばいいよ。 **教日後** よもぎはカリカリにたれてしまう。

よもぎの実験から、水につけてそのまにしておくだけでは保存できないことがわかった子どもたち。給食の先生からよもぎをゆでて冷凍しておく方法を聞き納得した様子です。

そして待ちに待った草だんご作りの日。  
 シニアサポーターさんや おばあちゃんたちと一緒によもぎや粉をこねたり丸めたりと、うれしそうなお表情で参加する子どもたちの姿がありました。



できたての草だんごの味に子どもたちは大満足。



よもぎ摘みから草だんご作りまでを楽しんだ子どもたちの思いが、地域のシニアサポーターさんや おばあちゃんたちだけでなく、お迎えに来られた お家の方々にも満面の笑顔となって伝わったことと思います。昔から伝わる故郷の食文化のぬくもりをこれからも大切にしていきたいと思っています。

「おおきくなあれ・ちいさくなあれ」



いつものようにIちゃんの手足をさすりながらやさしく言葉をかけるおばあちゃん。  
**Iちゃん、大きくなあれ。大きくなあれ。**

すると今度はIちゃんが おばあちゃんの手足をさすりながらやさしく言葉をかけました。



思わず吹き出したおばあちゃん。思いあたることかありました。



Iちゃんとおばあちゃんの会話からお互いのことを思いやる温かい気持ちか伝わってきました。4歳になったIちゃんの心の成長を感じさせられる場面でした。